

北海道で野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出！（国内今シーズン初）

発生概要

- ・所在地：北海道 苫小牧市
- ・野鳥の種類及び羽数：オオタカ1羽
- ・経緯：10月15日、死亡野鳥のオオタカ1羽を回収
10月17日、遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザ H5 亜型であることが環境省より報道発表された

養鶏農家の皆様へ

ウイルス侵入防止対策を徹底するとともに家さんの健康観察を毎日行い、異状を感じたら速やかに家畜保健衛生所に通報してください。

飼養衛生管理者による飼養衛生管理基準遵守状況の一斉点検（自己点検）及び家畜伝染病予防法第52条で定められた毎月の死亡羽数の報告も必ずお願いします。



埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

TEL: 048-663-3071

（24時間、土日祝日も受付）